

ギリシャ・南イタリア・トルコ12日間の旅 RSK OB 高谷 昇

NOBORU TAKAYA 2015・2・10～2・21



この度南イタリア・ギリシャ・トルコの旅をしました。岡山～バスで関西空港へ、関空からトルコのイスタンブール経由でローマへはいました。イスタンブール以外は天候に恵まれて快適な旅行が楽しめました。しかしイスタンブールは行きもみぞれ交じりの小雪が舞っていました。帰りのイスタンブールは大変でした。大雪で空港が2日間も閉鎖になりました。空港は椅子席はもちろん、フロアに観光客があふれて、寝転がる芋の子を洗う状態でした。我々もチケットを翌日にチェンジしてもらって手続きに手間取りました。そして急ぎょ、トルコ航空が手配してくれたホテルに移動しました。真夜中の3時ごろでした。まだ1日目はトルコ航空がホテルを手配してくれたので、助かりましたが、翌日も早めにイスタンブールの空港にみんなで行きました。待つこと8時間、今日も大雪のため空港閉鎖とのこと。みんな青ざめました。仕方なくチケットの翌日へのチェンジ、そしてこの日は航空会社がホテルを手配してくれず、添乗員とともに私を含めた4～5人でホテル探しです。5つ星なし、4つ星なし、3つ星でもええわとなりました。ツイン100ユーロ、3人部屋150ユーロでなんとか手配でき、車で雪道をホテルへと走りました。1日目は観光どころではなホテルで爆睡でした。食事昼過ぎに取った程度でした。しかし2日目ともなると、開き直ってトルコ市内観光と雪の中を歩き回りました。そして3日目の夜中3時間遅れで2時50分にイスタンブール発で関西空港へ飛びました。関西空港に翌日の22時ごろ到着しました。岡山や広島、四国、北陸など帰れません。

また、大阪でホテル探しです。日航の関空ホテルは満杯で空なし、やっと泉佐野のホテルを見つけて1泊しました。翌日やっと岡山に帰りました。いろんな海外旅行しましたが、何時間の遅れは多く経験しましたが、3日間も延長するなんて初の経験です。雪には勝てませんでした。



第1日目

23時20分関空発→イスタンブールへ→空路、乗り継ぎローマへ

飛行時間 関空→イスタンブール 13時間20分

イスタンブール→ローマ 2時間40分

*時差 日本→トルコ -7時間

*時差 日本→イタリア -8時間

第2日目

05:40 イスタンブール着

08:40 イスタンブール発→10:20 ローマ着

ローマ着後→カゼルタへ 専用バスで 途中、昼食はレストランで

*世界遺産 贅の限りを尽くした美しい カゼルタ観光・・・王宮、庭園



観光後、ナポリへ・・・ホテル到着、夕食はホテルで・・・ナポリにて うれしい2連泊

世界の三大夜景の一つとされる、ナポリの夜景見物にでかけたが、言われるほどの事はなかったです。

長崎や函館、六甲山の夜景の方が綺麗かも・・・



ナポリ

世界遺産

Napoli

MAP P3

ローマから南へ200km離れたカンパニア州の州都。世界3大美港のひとつで、海からのイスキア島やカプリ島、真正面の峰の眺望は「ナポリを見て死ね」という諺にも納得させられる美しさだ。



▲ナポリ湾と雄大なシルエットを見せるヴェスヴィオ山

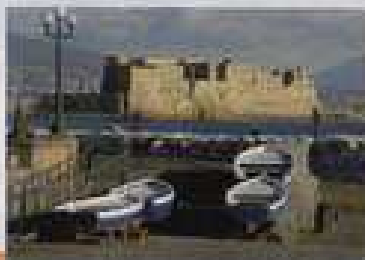
ナポリでの

SUPPORT GUIDE

サポートガイド

卵城

Castel dell' Ovo



ナポリ民謡で有名な港町、サンタ・ルチア地区の小島に建つ城。呼び名は、城の基礎に埋め込まれた卵が壊れると同時に、町も城も滅びるという伝説に由来するといわれる。



混雑

車が多い上、道路が悪いため街中は渋滞気味。バスは揺れるのでシートベルトを着用しよう。



トラブル

治安が良好とはいえないので、一人での自由歩行は避けた方がよい。



▲神秘的な「青の洞窟」

カプリ島

Isola di Capri

MAP P3

ナポリから30km南、船で1時間ほどの人口1万2,000人の小さな島。古代ローマ皇帝たちの別荘地で、皇帝ティベリウスは島の風光に魅せられ、最後の10年間を過ごした場所でもあるという。島の名所が「青の洞窟」。マリーナ・グランデから船で渡り、小型のボートに乗り換え、波のタイミングをはかって、小さな入口から洞窟内に入る。予想外に広い内部の海水は光の屈折で神秘的な青い色に変化。感動的な空間をつくっている。

島の特産はリモンチェッロ

カプリ島はレモンの産地。太陽をたっぷり浴びたレモンは酸味もあるけれど、甘さも充分。このレモンを用いたリキュール「リモンチェッロ」は島の特産品。



青の洞窟での

SUPPORT GUIDE

サポートガイド



季節の影響

冬は寒く、夏はカンカン照りになる。特に夏は水の補給と季節に合った服装のほか、帽子やサングラスで防備しよう。



靴

ボート内は水で濡れて滑りやすいので安全な靴を。



貴重品

小型ボートに乗り移る際、両手を空けないと危険。荷物はフェリーに残すが、特に女性は貴重品の保管に困らないよう、ポケットが深い洋服か、ウエストポーチなどを用意しよう。



第3日目

07:45 ナポリ発→ポンペイへ

世界遺産—ポンペイの遺跡観光



ポンペイ

世界遺産

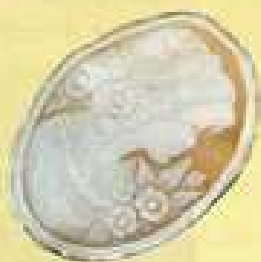
Pompeii

MAP P3

紀元前6世紀には都市国家のレベルに発達、紀元前1世紀にローマ帝国の支配下となり、アッピア街道よりローマへ物資を輸送する中継点、商業・港湾都市として繁栄した。紀元79年8月24日、ヴェスヴィオ山が爆発、街は一夜にして埋没、1748年に再発見されて以来、発掘が続けられている。裕福な商人の家、浴場、円形劇場、水道などの建造物、美術品が出土、犠牲者の姿も再現され、ローマ時代の都市の機能と風俗を再認識できる。

遺跡前のカメオ工房

ポンペイ付近で女性の心をときめかせている工芸品がカメオ。遺跡前の工房では製作風景を見学し、買い求めることができる。カメオとは貝やサンゴ、象牙、宝石などに絵柄を掘った芸術作品。古代より装飾品として愛され、近年では貝殻に掘り出したシェルカメオが珍重されている。



ポンペイでの

SUPPORT GUIDE

サポートガイド



環境

2,000年前の街なので、凸凹の石畳は足場が極めて悪い。かかどが厚く、底が平らな靴を履こう。



給水・休憩

遺跡の中に店やベンチなどの設備がある。



トイレ

遺跡の中にある。念のため、ペーパー類は用意した方が安心。近くにある土産物店のビル2階のトイレも便利（有料）。



高齢者・子供

道路が悪いため疲労度は高い。

ソレント

Sorrento

MAP P3

ナポリ民謡「帰れソレントへ」で有名なリゾート地。オレンジやレモンの畑が広がり、サン・フランチェスコ教会の中庭が美しい。その隣の公園から眺める夕焼けが劇的だ。





この前イタリア旅行でポンペイ行ったので、今回で2 どもめである。1 回見ているので、この前も見た見たと
なんとなく懐かしく見て回りました。紀元前に水道やトイレを作っていたなんて・・・
売春宿まであり、港に商売で入ってくる外人を相手にしていたなんて・・・紀元前から2 1 世紀まで、人間は進化し
たのだろうか・・・欲望と戦争・・・

昼食はレストランで→美しい海岸沿いをドライブ、絶景スポットのポジターノの丘から見物
世界遺産—アマルフィ海岸観光・・・

エメラルドの海とレンガ色の屋根のコントラストが美しいアマルフィの街を散策した



▲ドゥオーモを見上げるアマルフィの広場

アマルフィ海岸

世界遺産

Amalfi

UNESCO P3

ソレントとサレルノを結ぶ全長約30kmの海岸線では、垂直に切り立つ崖沿いに白壁の家や別荘が点在。この海岸線の間にあるアマルフィは緑が海に迫る景勝地で、名産のレモンを用いたシュークリームが名物。

ポジターノ

Pontafano

UNESCO P3

イタリア屈指の高級リゾート。町の手前、国道沿いの見晴らし台からは地中海式の町と海の素晴らしい風景を眺望できる。



エメラルドの洞窟

Grotta dello Smeraldo

UNESCO P3

手漕ぎボートで内部に入ると鍾乳石の柱が目前に迫り、迫力ある洞窟。水深10mの海底にはマリア像やキリスト誕生の像が置かれ、澄んだ水越しに目に入ってくる。



断崖、絶壁に家を建てて、ミカンや野菜を栽培している。山羊が断崖、絶壁を歩いている。平地がないので、こんな所に住むのか・・・



観光後、ナポリへ帰る→世界遺産、ナポリ歴史地区車窓観光
ホテル到着後→世界三大夜景の一つ ナポリの夜景とピサ°の夕食

第4日目

ナポリ発→世界遺産 マテーラ観光・・・サッシと呼ばれる住居が立ち並ぶ、岩窟都市マテーラを散策する



岩窟の中は冬は暖かいし、なつは涼しいようです。

よくも岩をくりぬいたものです。家の中の道具は、最近まで日本でも使用している道具がいっぱいでした。

石段だらけの岩窟住宅には高齢者が住むのはかなり困難だと思います。どうやって生活したのか苦労したでしょう。ハリウッド映画などが、よくロケに来るといっていました。



▲アルベロベッロの街並み

アルベロベッロ

Alberobello

世界遺産

MAP P3

「トゥルッリ」というトンガリ屋根に白い壁の、童話の世界のような家々が並ぶ。1700年に建てられた「トゥルッロ・ソヴラーノ」は2階建てで、内部見学も可能。モンティ地区には土産物店もある。街の名前は「美しい樹」の意味。

マテラ

Matera

世界遺産

MAP P3

岩山をくり抜いた洞窟住宅群「サッシ」が残る街。ベルヴェデーレ展望台からは、荒々しい大地に重なり合うように並ぶ住居跡が一望でき、先人たちの厳しい生活を偲ばせる。8～13世紀に建造された洞窟教会も必見。



オストゥーニ

Ostuni

MAP P3

アドリア海を見下ろす丘の斜面に、無数の白い建物が重なり合いながら密集。遠くから眺めると、丘と街が一体化して海上に停泊する軍艦のように見える。



カゼルタ

Caserta

世界遺産

MAP P3

行政上の首都建設のため、ナポリ王カルロ7世（後のスペイン王カルロス3世）が建設を命じた宮殿が1780年に完成。1,200以上の部屋と120ヘクタールの大規模な建築はバリのヴェルサイユを凌ぐことを目指して建設された。



昼食後→世界遺産、アルベロベッロへ・・・とんがり屋根の家、トゥルリ 見学



アルベロベッロの土産物店で日本人妻の陽子さんと会い話しました。

トルコ人のご主人は、商売人としては口下手でした。トイレも貸してくれないしちょっとどうかかと・・・

赤ずきんちゃん→おばあさん→オオカミ 3変化の人形を15ユーロで買いました。孫の土産。

とんがり屋根の家 トゥルリはおとぎの国に行ったようで、不思議な感じでした。

アルベロベッロを散策後→バスでバーリ港へ→フェリーでギリシャへ渡ります

・・・ギリシャのイグメニツアに向け出航→アドリア海 1泊の船旅を楽しみました・・・

4人部屋でしたが、夫婦2人で使用できて幸せでした。ゆっくりとシャワーも使えました。

電池の充電もすることが出来てよかったです。

その1終わり、その2 (11頁～) をご覧ください。

[その2クリック](#)